



Future begins with engineers and JSPE

ホーム
Home

JSPEについて
About JSPE

技術倫理
Ethics

イベントカレンダー
Events

刊行物
Publications

[最新情報Home](#)

第43回Engineers' Salon 議事録

－ テーマ 「NSPE総会で見えた今後の日本とアメリカ」 －

The future of Japan and the United States seen in the NSPE general Meeting

日時：2009年9月16日(水) 午後7時～9時30分

場所：赤坂事務所

出席人数：6人

参加者：植村（講師）、飯塚、掛川、金城、小石川、神野（(司会&文責)（敬称略、アイウエオ順）

7月15～19日にミズリー州セントルイスで開催されたNSPEの総会に土屋会長と植村理事が参加され、植村理事に報告を頂いた。

1. 参加報告

今年にはNSPE創設75周年の節目の年であったが、不況の影響もあり、例年活発に行われるセミナーや見学会が大幅に縮小され、参加者も約330名と減少し、スポンサー企業も激減し、ごちんまりとした総会となった。

総会では、新会長としてSamuel Grossman氏（6月のJSPE 総会に出席）が、また、次期会長としてMark Hardy氏がそれぞれ承認され、新しい体制がスタートした。

土屋会長も総会・理事会双方で挨拶し、「アジアのゲートウェイとして、日本もエンジニアリングの発展に貢献したい」と述べた。この総会の場は、一昨年は議決権のないJSPEは中に入ることさえ許されていなかった。昨年は傍聴席を用意され、今年は挨拶の場まで設けられと、NSPEの「グローバル化」の勢いを強烈に感じさせられた。その壇上に、外国から出席した韓国・カナダ・コスタリカ・日本の旗が星条旗とともに掲げられていたのが何とも印象的であった。

ディスカッションの場では、「Bachelor +30」について熱い意見交換がなされた。これは、PEの受験資格として、学部卒の人には30単位程度の追加の学習や実務経験を加えようという動きで、数年前から議論されている。Software Engineeringという新しいPEの科目を2013年を目途に造る計画について説明会が開かれた。

1.1日本と米国の格差として

米国では熱効率の良い電球が主流であるが、日本では普及していない。

米国の鉄道は旧態然としたアムトラックの列車であるが、日本は新幹線である。

日米の交流が必要である。

3.米国の技術史

米国の技術の歴史を見たとき2000年代は明確な技術のエポックが無く金融に走ったつけがリーマンショックにつながったと考えられる。

1930年代 ニューディール作戦

1940年代 マッハッタン計画

1950年代 原子力潜水艦用ミサイル

1960年代 アポロ計画
1970年代 エネルギー独立計画
1980年代 戦略防衛構想
1990年代 情報スーパーハイウェイ構想
2000年代 ?? (金融?)
2010年代 グリーンニューディール

1.2 セントルイスアーチ

セントルイスのシンボルである630フィートのゲートウェイ・アーチの建設ビデオを見た。

2. 第二部

次の時代の日本の技術革新は何かについてフリーディスカッションをした。

3. 次回

次回11月中を予定しており、話題は未定

(文責 : 神野)

[2009年09月28日\(月\)15時00分](#) [この記事のURL](#) [Event](#) [admin](#)

Script : [Web Diary Professional](#)

(C) 2003-2013 The Japan Society of Professional Engineers/All Right Reserved. E-mail: webmaster@jspe.org